



やま かみ かつ よし
山上 勝由
 自由民主党田原市議団



本市の定住・移住につながる住宅施策の取り組みは

宅地や住宅の供給に加え、田原市定住・移住促進奨励金制度を設けている

子育て世代の定住・移住施策について

問 定住・移住につながる子育てに関する取り組みはどのような効果があったのか。

答 アンケート調査の結果、6年前と比較して満足度が2倍となり、子育てに関する環境や支援が充実し、魅力向上に効果があった。

問 ふるさと教育が定住・移住につながる効果は。

答 この地域で暮らしていきたい気持ちを醸成し、長期的な視点で定住・移住につながる効果があると考える。

問 本市の定住・移住につながる住宅施策の取り組みは。

答 宅地や住宅の供給に加え、45歳以下の若者・子育て世代を対象に、田原市定住・移住促進奨励金制度を設けている。

問 定住・移住促進奨励金を平成28年度から交付してきて、どの程度効果があったのか。

答 これまでに1,200件以上支援を行い、このうち義務教育終了前の子が同居する方が約8割を占めており、多くの子育て世代の市内定住につながっている。

問 多くの子育て世代の定住・移住につながる魅力ある賃貸集合住宅の取り組みは。

答 若者世帯の居住支援を目的に整備した築出住宅により、市内での定住・移住につながる一定の成果が上がっている。また、田原市街地内で新たな賃貸集合住宅整備等の可能性について、調査等を行っている。

問 住宅施策に係る既存の取り組みの見直しや、新たな取り組みの検討は。

答 令和7年度に田原市住生活基本計画の改定を予定しており、先進事例も参考にして住宅施策の方向性を検討していく。

問 定住・移住施策の効果的な周知を進めるための今後の取り組みは。

答 全国の先進事例も参考にしつつ、移住者にとって分かりやすく、興味を引くことができる情報発信に努める。

がん患者アピラランスケア支援事業（エピテーゼ ※）について

問 がん患者にとってエピテーゼの重要性を認識しているとのことだが、頭頸部のエピテーゼに対し、購入支援を拡充していく考えは。

答 市民ニーズや県などの動向を注視し、研究していく。

安心して搾乳できる環境づくりについて

問 安心して搾乳できる環境づくりには、周囲への理解周知をし、社会認知を変える取り組みが必要であると考えるが、市民にどのように周知していくのか。

答 授乳室を備えた市内の公共施設には、赤ちゃんの駅のスレッカーを掲示しており、市役所には既に搾乳にも利用できる旨を表示している。今後は他の公共施設への表示を進めるとともに、民間の授乳室を備えた施設にも表示してもらうように呼びかけていく。併せて、ホームページ等で周知に努める。

※エピテーゼ
 身体の外表面の欠陥に伴う外見の変化を補うための医療用具。

